

仁和公園閉鎖 埋まらぬ溝

代替案 住民、安全面に不安

3月末で閉鎖が予定されていた立本寺境内の仁和公園(京都市上京区)は、京都市と現公園の存続を求める住民との溝が埋まらないまま、新年度を迎えた。代替公園案は同寺参道などを市が賃借して用地を確保する内容。しかし、形状がいびつな上、安全面で不安の声が住民から出ている。

市と立本寺が交わした代替公園案の覚書では、通字路になっている石畳や、本堂南側の境内地などを市が新たに賃借。立本寺最古の木造建築で老朽化が激しい「祖師堂」も解体して用地の一部に充てる。

代替公園の面積は、参道部分を含めると現公園とほぼ同じ約1700平方メートル。しかし、地元説明会などで住民が



代替公園案で想定されている本堂前の敷地(京都市上京区・立本寺)



市、用地契約終了も管理継続

ら、公道に接する部分が少ない▽本堂(市指定有形文化財)が間近でボールを使った遊びなどが制限される▽災害時の安全確保が不安—などの指摘が出ている。

一方、立本寺側は公園跡地を、有料老人ホームを展開するチャーム・ケア・コーポレーション(大阪市)に年間1800万円で貸す方針だ。市はこれまで年100万円で立本寺と契約していたが、3月10日の説明会で住民から強い存続要望を受け、寺側に最大で年間約1500万円(非課税)との条件を提示。寺側は一時、公園存続に前向きな姿勢を示したが、最終的にチャーム社と代替公園の両方に境内を貸すことに決めた。立本寺によると、本堂や寺宝の維持修理に億単位の費用が必要で、不動産収入増加を充てるという。

現公園用地の寺と市の契約は3月末で切れたが、1日以降も暫定的に市が公園として管理する。4月下旬には遊具や樹木などを撤去する方針を示しつつも、公園存続の可能性を探る努力は続け、再度、住民説明会を開くとしている。住民側は、昨年に仁和寺(右京区)近くでコンビニとカソリンスタンドの出店計画が地域の反対運動で白紙撤回された事例などを参考に、訴えを継続する方針だ。(清原稔也)

市民版



住民「仁和公園の存続を」 上京

京都市が閉鎖を予定している仁和公園（京都市上京区）の存続を求め、地域住民が「立本寺（仁和）公園を愛する会」をこのほど立ち上げた。27日には同公園に約100人が集まり、署名運動を開始した。

仁和公園は、仁和学区で最も

組織立ち上げ、署名運動スタート

住民説明会を開いたが、住民からは存続要望が相次ぎ、市は寺との交渉を再開。関係者によると、寺側は一時、公園存続に向けて前向きな姿勢を示したが、老人ホーム計画を撤回した場合に生じる補償問題などがネックになっているという。

愛する会では今後、署名運動のほか、公園を利用したフリーマーケットなどを開き、収益金を寺の維持に役立ててもらおうと



仁和公園の存続を求めて署名やアピール行動に集まった住民ら（京都市上京区仁和寺街道七本松西入ル）

広い公園で、立本寺の境内に1954年に開園。市は年間100万円で賃借していたが、寺は財政難を理由に2016年度からは年間千数百万円でチャーム・ケア・コーポレーション（大阪市）に跡地を貸し、有料老人ホームを建設する計画が進んでいる。

とも計画している。同会の代表で保育所「西陣和楽園」の衣川斗美子園長は「緑が豊富で、子どももお年寄りにも愛されている公園。最後まで諦めずに存続を呼び掛けていきたい」と話している。

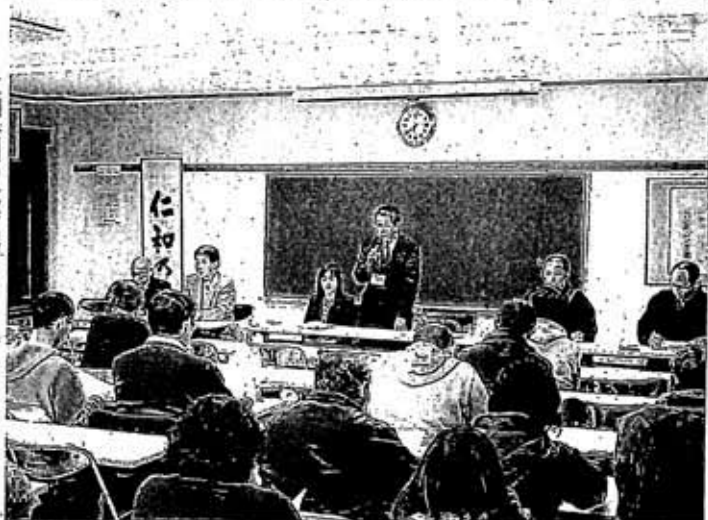
署名の問い合わせは同会の高島さん ☎075（811）4890。

（清原稔也）

上京・仁和公園閉鎖計画

代替の公園新設案

京都市、住民に提示 立本寺境内に



仁和公園の代替地について市が発表した説明会(京都市上京区・仁和公園)

京都市上京区の立本寺境内にある仁和公園を京都市が3月末で閉鎖する計画について、市は29日夜、住民向けの第2回説明会を地元仁和学区で開いた。市は、現在の公園を廃止する代わりに、同寺の境内に代替の公園を新設する案を示した。集まった約100人の住民からは、4月以降の現公園の存続を求める声が相次いだ。

市は、代替公園案について、現在の公園の北側にある祖師堂を撤去して用地を確保する。29日付で立本寺と市で同案について覚書を交わした経緯を示した。

10日の第1回説明会以降、住民の強い存続要望を受けて市は立本寺と交渉を再開してきた経緯についても説明した。市は、賃料を引き上げる提案などを行い、寺側は一時存続に向けて前向きな姿勢を示したが、最終的に4月以降、老人ホームを経営する民間事業者に用地を貸すことになったという。

説明会には立本寺の担当者も臨席。公園廃止の理由

について、金銭的な条件で決定したことが示された。また、老人ホーム計画を白紙にした場合の補償問題もネックになっている事実が明らかにされた。

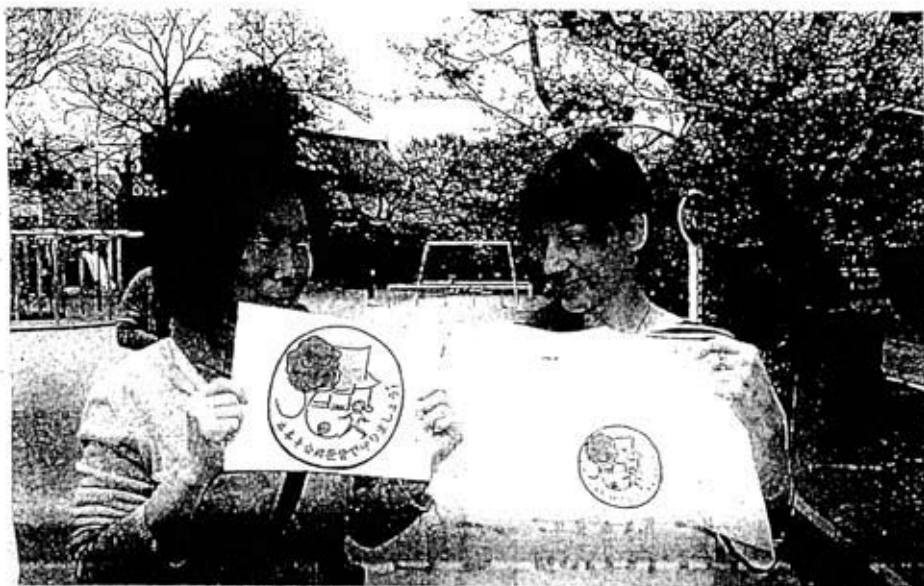
住民からは、現在の公園を残した上で、地域住民が一体となって立本寺の財政難を支援していくとの意見や、公園に生えている26本の木々を伐採することへの疑問の声などが上がった。

(清原稔也)

存続訴えるロゴマーク

仁和公園（京都市上京区）の閉鎖問題で、仁和学区の住民でつくる「立本寺（仁和）公園を愛する会」（代表＝衣川斗美子西陣和楽園長）は、公園の存続を呼び掛ける活動に使用するロゴマークを作った。署名運動は開始から5日間で約千人分が集まっており、住民らは「古寺と縁に囲まれたこの公園の尊さをあらためて実感した」と話している。

仁和公園閉鎖問題で住民の会



桜が咲き始めた仁和公園で、ロゴマークを手にして存続を求める地元の住民たち（京都市上京区仁和寺街道七本松西入ル）

守られながらボール遊びをする子どもの姿を描いた。

マークはステッカーにして市民に配布しているほか、プリントしたTシャツを会員らが着用するなどして、公園存続PRに活用している。

また、今月26日から始めた署名活動には、仁和学区の住民を中心に千人以上が賛同した。公園は、隠れた桜の名所としても人気があることから、市内全域や他府県からの署名も寄せられているという。

署名やロゴマークの問い合わせは、愛する会の高島さん ☎075（811）4890。署名用紙は同会のフェイスブックにも掲載している。

（清原稔也）

和の精神 デザインに

署名1000人集まる

先ごろから、大宮消防出張所や仁和児童公園の廃止、二条城駐車場着工へと

いった市関連施設の事が相次いだ。この3件に共通しているのは、地域住民に

対する行政の説明不足だ。公園や消防署の廃止は、災害時の避難場所の減少や

消防活動の脆弱さに直結する。両施設がある地区は、狭い道沿いに木造住宅が密集した高齢化世帯が多く、

八幡町
飼い主と空の旅
ワンダフル!
—愛犬たち
(伏見・ひのえうま)

でも当然だろう。

公園に関しては寺院境内の賃借なので、所有者の経済活動を妨げることはできない。維持費用捻出のために、境内に住宅建設を余儀なくされた寺社の話題も少なくない。また出張所は建物老朽化や人員削減案に基づくとある。大地震に備え

る現状で、単純な理由で片付けていいのだろうか。

阪神大震災や東日本大震災では、公園や公共施設がハード面を支え、ソフト面も担った。住民と行政は常に二人三脚でなければなら

ない。今回の件は、行政側が長期的な観点で再検討し、住民と議論を尽くすべきだ。住民不在での抽速な判断は、愚行となるだろう。

業者の老人ホーム計画…市が閉鎖予定

市民版



住民「仁和公園の存続を」 上京

京都市が閉鎖を予定している仁和公園(京都市上京区)の存続を求め、地域住民が「立本寺(仁和)公園を愛する会」をこのほど立ち上げた。27日には同公園に約100人が集まり、署名運動を開始した。

組織立ち上げ、署名運動スタート

仁和公園は、仁和学区で最も広い公園で、立本寺の境内に1954年に開園。市は年間100万円で賃借していたが、寺は財政難を理由に2016年度からは年間千数百万円でチャーム・ケア・コーポレーション(大阪市)に跡地を貸し、有料老人ホームを建設する計画が進んでいる。

亀齢堂薬局

せんじ薬・漢方薬製造販売薬局
漢方相談(予約制) 駐車場あります
〒602-8136 京都市上京区橋本町通西門入
中御門横町574番地1 フォナルマフドビル1F

075-803-1675 (10時~18時 土・日・祝除く)
http://www.kireidou.co.jp

仁和公園の存続を求めて署名やアピール行動に集まった住民ら(京都市上京区仁和寺街道七本松西入ル)



とも計画している。同会の代表で保育所「西陣和楽園」の衣川斗美子園長は「緑が豊富で、子どもにもお年寄りにも愛されている公園。最後まで諦めずに存続を呼び掛けていきたい」と話している。

署名の問い合わせは同会の高島さん ☎075(811)4890。(青真除也)